

IV 便利な「都」をつくる

～県土マネジメントを推進し、
効率的で便利な交通基盤をつくる～

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (38) 京奈和自動車道等の整備

ここまで良くなりました

京奈和自動車道の整備により、県内の企業立地が促進しました。

【京奈和自動車道】

- ① 大和北道路(国・NEXCO西日本)
 - 《(仮称)奈良北IC～(仮称)奈良IC》
 - ・調査・設計を実施
 - 《(仮称)奈良IC～郡山下つ道JCT》 用地取得率 約8割
 - ・用地買収、拡幅工事、橋梁下部工を実施



【都市計画道路 西九条佐保線】

- ③ R3年度JR関西本線高架化工事に着手



もっと良くするために

京奈和自動車道及び関連道路の早期整備に取り組みます。

京奈和自動車道

- ① 大和北道路
 - (仮称)奈良北IC～(仮称)奈良IC間(約6.1km)で調査・設計を推進
 - (仮称)奈良IC～郡山下つ道JCT間で用地買収、拡幅工事、橋梁下部工を推進



令和4年度予算案 10,180百万円 [債務負担行為265百万円]

R4予算案 10,180,068千円 [債務負担行為 265,000千円]

【京奈和自動車道 大和北道路】(2,831,000千円)

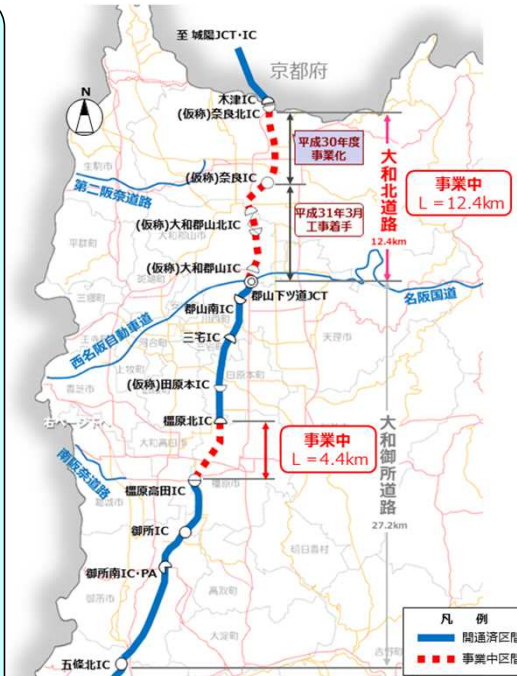
○関西大環状道路の形成による企業立地の促進、観光の振興及び救急医療施設へのアクセス向上
[R4年度] 用地買収、改良工事、橋梁下部工事

【京奈和自動車道 大和御所道路】(3,280,000千円)

○関西大環状道路の形成による企業立地の促進、観光の振興及び救急医療施設へのアクセス向上
[R4年度] 改良工事、橋梁上下部工事
・(仮称)橿原JCT大阪方面接続ランプ 令和8年春開通予定
<R3.4 国公表>

【西九条佐保線】(4,069,068千円、R5債務負担行為 265,000千円)

○京奈和自動車道(仮称)奈良ICへのアクセス整備、鉄道高架化による地域分断の解消、一体的なまちづくりの推進
[R4年度] 鉄道高架化工事、本線部分の用地買収



位置図



大和北道路(大和郡山市横田町)



大和御所道路(橿原高田IC付近)



(仮称)奈良IC・西九条佐保線(イメージ図)

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 道路建設課 楠本主幹(内線4131)

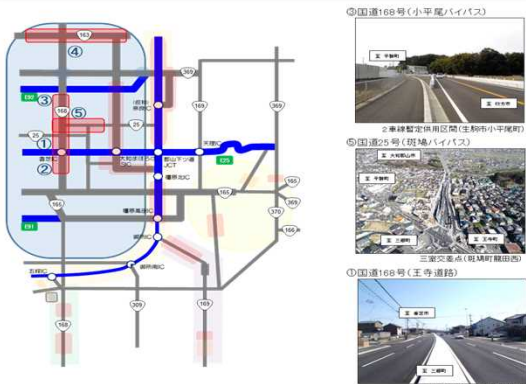
IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備

(39) 大和平野中心部の道路整備(国道163号・国道168号と周辺道路)

ここまで良くなりました

大和平野中心部の道路整備が進んでいます。

- ①国道168号 王寺道路(県) [事業延長:1.5km]
・H27年9月までに王寺町本町一丁目交差点から南側の約1.2kmが供用
- ②国道168号 香芝王寺道路(県) [事業延長:3.2km]
・R3年度より工事着手
- ③国道168号 小平尾バイパス(県) [事業延長:1.5km]
・バイパス区間の工事を実施
- ④国道163号 清滝生駒道路(国) [事業延長:3.7km]
・北田原地区、北田原東地区、高山水橋交差点で改良工事を実施
- ⑤国道25号 斑鳩バイパス・三室周辺(国) [事業延長:4.7km]
・H30年3月に王寺町本町一丁目交差点の渋滞対策が完成
・R2年8月までに三室交差点から東側の約1.5kmが供用



もっと良くなるために

引き続き大和平野中心部道路の、早期整備に取り組みます。

①王寺道路・②香芝王寺道路

《王寺道路》
○拡幅工事を推進

《香芝王寺道路》
○R6年度に3.2kmのうち0.3kmを供用予定
○拡幅工事、用地買収等を推進

③小平尾バイパス
○橋梁工事、用地買収を推進

④清滝生駒道路
○改良工事、橋梁下部工事、用地買収を推進

⑤斑鳩バイパス・三室周辺
○五百井・興留地区の工事着手に向け用地買収を推進

令和4年度予算案 3,773百万円 [債務負担行為 1,411百万円]
令和3年度2月補正予算案 1,116百万円

R4予算案 3,772,550千円 [債務負担行為 1,411,000千円]、R3・2月補正予算案 1,116,130千円

【国道163号 清滝生駒道路】(国事業箇所)
(直轄負担金 600,000千円)

○ 奈良県北西部の府県間における東西ネットワークの強化
[R4年度]
用地買収、改良工事、橋梁下部工事



【国道163号】(仮称)下田原東ランプ(橋梁下部工事)

【国道168号 王寺道路、香芝王寺道路、小平尾バイパス】(県事業箇所)

(3,067,550千円、R5~R6債務負担行為 1,411,000千円、R3・2月補正予算案 1,116,130千円)

○ 奈良県北西部の南北軸となる道路における移動の円滑化及び交通安全性の向上

- [R4年度]
- <王寺道路> 道路拡幅工事
 - <香芝王寺道路> 道路拡幅工事、電線共同溝工事、用地買収
 - <小平尾バイパス> 橋梁下部工事、用地買収

【国道25号 斑鳩バイパス】(国事業箇所)
(直轄負担金 105,000千円)

○ 西和地域の観光地や救急医療施設へのアクセス向上

[R4年度] 用地買収



【国道168号】王寺・香芝王寺道路の工事状況



【国道168号】小平尾バイパスの工事状況



【国道168号】三室交差点の改良工事完成状況

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 道路建設課 大西主幹(内線4146)、楠本主幹(内4131)

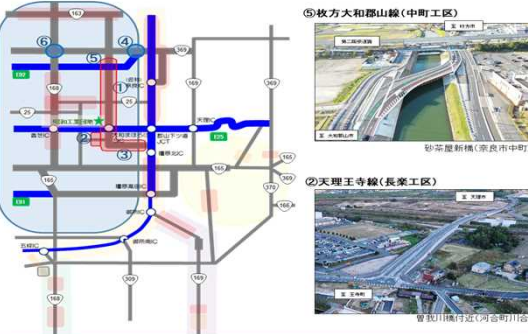
IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備

(40) 大和平野中心部の道路整備(大和中央道・阪奈道路結節点)

ここまで良くなりました

幹線道路の整備により、県内の工業地域における地価が上昇しました。

- ①(都)城廻り線(北郡山工区) [事業延長:0.9km]
 - ・R2年度に近鉄線アンダーパスの工事に着手
- ②天理王寺線(長楽工区) [事業延長:1.7km]
 - ・R2年3月に曾我川橋前後の約0.5kmが供用
- ③結崎田原本線(結崎～三河工区) [事業延長:2.1km]
 - ・伴堂地区及び三河地区において工事を実施
- ④国道308号(宝来ランプ) [事業延長:0.9km]
 - ・R3年3月に都市計画を変更し、設計を実施
- ⑤枚方大和郡山線(中町工区) [事業延長:1.6km]
 - ・R2年3月に砂茶屋橋東詰交差点南側の約0.2kmが供用
- ⑥辻町インターチェンジ [事業延長:約0.5km]
 - ・計画検討を行いながら地元説明を実施



もっと良くするために

大和平野中心部の企業立地等の促進のため、早期整備に取り組みます。

- ①(都)城廻り線(北郡山工区)
 - 近鉄線アンダーパスの工事、用地買収を推進
- ②天理王寺線(長楽工区)・③結崎田原本線(結崎～三河工区)
 - 改良工事、用地買収を推進
- ④国道308号(宝来ランプ)
 - 御道部から阪奈道路へ接続する高架橋の調査設計及び用地取得を推進
- ⑤枚方大和郡山線(中町工区)
 - 改良工事、用地買収を推進
- ⑥辻町インターチェンジ
 - 改良工事、用地買収を推進

令和4年度予算案 1,324百万円 [債務負担行為 240百万円]
令和3年度2月補正予算案 23百万円

R4予算案 1,324,100千円 [債務負担行為 240,000千円]、R3・2月補正予算案 23,100千円

【(都)城廻り線 北郡山工区、
結崎田原本線 結崎～三河工区、天理王寺線 長楽工区、
枚方大和郡山線 中町工区】

(1,229,600千円、R5債務負担行為 210,000千円、
R3・2月補正予算案 23,100千円)

○大和平野中央部の南北軸及び東西軸となる道路における移動の円滑化や交通安全性の向上

[R4年度]

- <(都)城廻り線 北郡山工区> 踏切道立体交差化工事
- <結崎田原本線 結崎～三河工区> 道路拡幅工事、用地買収
- <天理王寺線 長楽工区> 用地買収、擁壁工事
- <枚方大和郡山線 中町工区> 用地買収

【国道308号 宝来ランプ】

(84,000千円、R5債務負担行為 30,000千円)

○大宮道路高架部から第二阪奈道路への乗り入れの確保によるアクセス性の向上

[R4年度] 用地測量、橋梁詳細設計等

【大阪生駒線 辻町インターチェンジ】(10,500千円)

○フルIC化による交通混雑の緩和や地域住民の利便性の向上

[R4年度] 測量、予備設計



枚方大和郡山線(中町工区)南側



天理王寺線(長楽工区)東側



宝来ランプ(イメージ図)



北郡山工区(近鉄立体交差点部完成イメージ)

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 道路建設課 大西主幹(内線4146)

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (41) アンカールート国道168号の整備

ここまで良くなりました

国道168号の整備促進により、救急搬送時間が短くなりました。

- ①新天辻工区(県) [事業延長:7.2km]
・H30年度に事業化し、調査、設計に着手
- ②阪本工区(県) [事業延長:1.4km]
・R2年度より(仮称)阪本トンネルの工事に着手
・R3年2月に(仮称)新阪本橋が完成
- ③長殿道路(国) [事業延長:2.7km]
・橋梁下部工事を実施
- ④風屋川津・宇宮原工区(国) [事業延長:6.9km]
・橋梁下部工事を実施
- ⑤十津川道路(Ⅱ期)(国) [事業延長:5.6km]
・調査・設計を実施
- ⑥五條市生子町～釜窪町(調査路線)(県) [調査延長:約6.0km]
・R1年11月に調査路線に選定し、ルート検討を実施

【全線開通区間】
十津川道路(Ⅰ期)(R1年9月)
辻堂バイパス(H30年3月)
川津道路(H28年3月)



もっと良くするために

国道168号(五條新宮道路)の早期整備に取り組みます。



⑥五條市生子町～釜窪町(調査路線)
○国道168号のバイパスとして、防災拠点を経由した道路の各種調査・設計を推進

①新天辻工区
○トンネル設計、用地買収を推進

⑤十津川道路(Ⅱ期)
○R5年度 十津川村内用地取得着手予定

令和4年度予算案 2,497百万円
[債務負担行為 1,270百万円]
令和3年度2月補正予算案 368百万円

R4予算案 2,496,550千円 [債務負担行為 1,270,000千円]、R3・2月補正予算案 367,500千円

【新天辻工区・阪本工区】(県事業箇所)
(1,271,550千円、R5～R6債務負担行為 1,250,000千円)
R3・2月補正予算案 367,500千円

- 線形不良区間と冬期の最大難所の回避による走行性の向上及び安全・安心の確保

[R4年度]
 <新天辻工区>法面工事、仮設工事
 <阪本工区>トンネル工事

【長殿道路、風屋川津・宇宮原工区、十津川道路(Ⅱ期)】(国事業箇所)
(直轄負担金1,050,000千円)

- 崩土等による通行止めのリスク低減と線形不良及び狭隘区間の解消による、安全・安心の確保

[R4年度]
 <長殿道路>用地買収、橋梁上下部工事
 <風屋川津・宇宮原工区>用地買収、橋梁下部工事
 <十津川道路(Ⅱ期)>調査設計

【五條市生子町～釜窪町】(調査路線) (県事業箇所)
(175,000千円、R5債務負担行為 20,000千円)

- 京奈和自動車道五條西ICから防災拠点を經由して国道168号に接続する道路の検討

[R4年度]
 測量・調査・設計、都市計画手続き

<問い合わせ先>
 県土マネジメント部 道路建設課
 大西主幹(内線4146)、楠本主幹(内線4131)、松田主幹(内4141)



阪本工区・(仮称)新阪本橋



風屋川津工区(仮称)1号橋(橋梁下部工事)



五條市生子町～釜窪町(調査路線)

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (42) アンカールート国道169号の整備

ここまで良くなりました

国道169号の整備促進により、さらなる観光の促進が期待されます。

- ①御所高取バイパス(県) [事業延長:3.4km]
・R1年8月に都市計画を決定し、調査・設計を実施
- ②高取バイパス(県) [事業延長:3.4km]
・H24年4月に高取町兵庫から松山高架橋間の1.4kmが供用
・工事中区間の2工区では、H31年1月に高取トンネル(L=635m)が完成
- ③伯母峯峠道路(国) [事業延長:2.9km]
・橋梁下部工を実施
- ④下北山村前鬼～音枝(調査路線)(県) [調査延長:約3.5km]
・R1年11月に調査路線に選定し、ルート検討を実施



もっと良くするために

国道169号(奈良中部熊野道路)の早期整備に取り組みます。

- ②高取バイパス
○橋梁工事等を推進
- ③伯母峯峠道路
○R7年度 トンネル工事着手予定
- ①御所高取バイパス
○道路設計、用地買収を推進
- ④下北山村前鬼～音枝(調査路線)
○調査・設計を推進

令和4年度予算案 1,213百万円 [債務負担行為 733百万円]
令和3年度2月補正予算案 205百万円

R4予算案 1,212,900千円 [債務負担行為 733,000千円]、R3・2月補正予算案 204,640千円

【御所高取バイパス、高取バイパス】(県事業箇所)
(522,900千円、R5～R6債務負担行為 680,000千円、R3・2月補正予算案 204,640千円)

- 京奈和自動車道御所ICと南和地域を結び、地域活性化や観光振興の支援
- [R4年度]
 - <御所高取バイパス>道路設計、用地測量
 - <高取バイパス>橋梁工事

【伯母峯峠道路】(国事業箇所) (直轄負担金 630,000千円)

- 大型車両との離合が困難な新伯母峯トンネルの回避による、安全・安心の確保
- [R4年度]
 - 用地買収、トンネル残土処分地整備

【下北山村前鬼～音枝】(調査路線) (県事業箇所) (60,000千円、R5債務負担行為 53,000千円)

- 大型車の対向が困難な線形不良区間における道路の検討
- [R4年度]
 - 道路予備設計



高取バイパス



伯母峯峠道路(仮称)2号橋
(橋梁下部工工事)



前鬼～音枝
(急カーブ、狭隘箇所)

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 道路建設課 大西主幹(内線4146)、楠本主幹(内線4131)、松田主幹(内線4141)

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (43) 大和平野東部の道路整備

ここまで良くなりました

周辺道路の整備促進により、さらなる地域振興が期待されます。

- ①桜井吉野線(百市工区) [事業延長:1.4km]
・H30年3月に現道拡幅区間の0.17kmが供用。R2年6月に「ものいち桜橋」完成
- ②国道369号(香酔峠工区) [事業延長:0.94km]
・H30年3月に0.48kmの登坂車線整備が完了し、部分供用
- ③桜井都祁線(桜井市白河～川上) (調査路線) [調査延長:約1.2km]
・R1年度に調査路線に選定し、これまでに概略設計等に着手



もっと良くするために

大和平野東部の地域振興等のため、早期整備に取り組みます。

①桜井吉野線(百市工区)

OR5年度に1.5kmのうち0.42kmを供用予定

○橋梁工事、用地買収等を推進

2車線改良工事を推進(桜井市百市)

②国道369号(香酔峠工区)

OR4年度完成供用予定

○法面工事を推進

線形改良区間(宇陀市榎原赤瀬)

③桜井都祁線(桜井市白河～川上)

○桜井市によるまちづくりの取り組み状況等を踏まえながら、調査・設計を推進

令和4年度予算案 324百万円
[債務負担行為200百万円]
令和3年度2月補正予算案 77百万円

R4予算案 323,950千円 [債務負担行為 200,000千円]、R3・2月補正予算案 76,556千円

【桜井吉野線 百市工区、国道369号 香酔峠工区】
(313,950千円、R5債務負担行為 200,000千円、R3・2月補正予算案 76,556千円)

○ 県中和地域と吉野地域を結び、観光振興や地域産業の支援

[R4年度] 橋梁工事

【桜井都祁線 白河～川上】(調査路線) (10,000千円)

○ 沿線での工業団地の創出及び長谷寺門前地区のまちづくりを支援する道路の検討

[R4年度] 地質調査、道路設計



香酔峠工区(法面工事)



桜井都祁線 白河～川上



百市工区(橋梁上部工事)



百市工区(部分供用状況)

<問い合わせ先> 県土マネジメント部
道路建設課 大西主幹(内線4146)、松田主幹(内線4141)

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (44) 道路の維持管理の計画化・体系化

ここまで良くなりました

道路を利用する方々が、安全・安心に利用していただけるよう、様々な道路の維持管理に取り組んでいます。

- 「橋梁」や「トンネル」などの道路構造物
 - ・近接目視により5年に1回の頻度で点検・診断
 - ・点検・診断結果で得られた判定区分に応じて、補修等の対策を推進
- 「舗装」や「区画線」などの道路施設
 - ・道路パトロールや通報等に加え、損傷程度の把握を目的とした点検により、損傷箇所を把握
 - ・損傷の見られる箇所については、順次、補修等の対策を推進
- 「草刈り」や「路面の落下物」などの日常管理
 - ・日常パトロールで状態を把握
 - ・安全・安心に道路を利用いただけるよう「草刈り」や「路面清掃」などの対策を推進



トンネル定期点検の状況



舗装補修工事の状況

もっと良くするために

道路維持管理の計画化・体系化をさらに進めるために、新技術の活用や、データベースシステムの導入などに取り組みます。

- 「橋梁」や「トンネル」などの道路構造物(5,230百万円)
 - 【債務負担行為 1,995百万円、R3・2月補正 1,465百万円】
 - ・点検の効率化高度化、修繕等の措置の省力化や費用縮減を図るため、新技術を活用しながら、効率的に実施
- 「舗装」や「区画線」などの道路施設(2,986百万円)
 - 【債務負担行為 1,792百万円、R3・2月補正 1,983百万円】
 - ・舗装の点検結果情報、補修履歴、舗装構成等を一元管理できる舗装管理データベースシステムを構築
 - ・このシステムにより、本庁で集約したデータに基づいて、本庁・事務所で情報を共有し、客観的指標に基づき補修箇所を決定するなど、計画的に補修工事を推進
- 「草刈り」などの日常管理(2,851百万円)
 - ・県民の皆様から寄せられるご意見や要望に耳を傾け、適宜、草刈り範囲の見直しや防草対策を行うなど、道路利用に関する満足度の向上につながる対策を推進



ドローン



新技術を活用した点検(近接写真の取得が難しかった添接部をドローンで撮影)

新技術を活用した点検(ロボットカメラの活用)

令和4年度予算案 11,067百万円 [債務負担行為 3,787百万円]
令和3年度2月補正予算案 3,448百万円

R4予算案 11,067,343千円、[債務負担行為 3,787,360千円]、R3・2月補正予算案 3,447,987千円

1. 道路施設の老朽化対策

(4,537,100千円、R5債務負担行為 1,240,820千円、R3・2月補正予算案 1,464,740千円)

- 道路構造物の長寿命化を目的とした補修・修繕
(橋梁、トンネル、大型構造物等)

2. 道路構造物(橋梁、トンネル等)の点検・診断

(693,000千円、R5債務負担行為 754,740千円)

- 近接目視により五年に一回の頻度で点検・診断
- 効率化、高度化、省力化を図る新技術の活用



トンネル点検

3. 道路の舗装補修

(1,072,751千円、R5債務負担行為 102,750千円、R3・2月補正予算案 1,138,782千円)

- 舗装の点検結果情報、補修履歴、舗装構成等を舗装管理データベースシステムで一元管理
- 本庁で集約したデータに基づく客観的指標を用いた計画的な補修工事

4. 道路法面の防災対策

(1,913,003千円、R5～7債務負担行為 1,689,050千円、R3・2月補正予算案 844,465千円)

- 崩落等の兆候、法面の危険度、路線の重要度を総合的に判断した優先箇所の防災対策

5. 道路施設の維持管理

(2,851,489千円)

- 舗装道、道路構造物、交通安全施設等の維持工事
- 除草、道路清掃、雪寒対策
- 県管理道路の包括的な維持管理等



道路の舗装補修

<問い合わせ先> 県土マネジメント部 道路保全課 辻井主幹(内線4152)

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (45) 奈良県の新しい道路整備の仕組

ここまで良くなってきました

奈良県道路整備基本計画(R1.10改定)の「道路整備の方針」に基づき、道路整備を進めています。

- 道路は「何のために」つくるのか目的を明確にします。
 - ・骨格幹線道路ネットワークの形成
 - ・目的志向の道路整備(企業立地、観光振興、安心安全、まちづくり)
- 道路を「どのように」つくるのかプロセスを明確にします。
 - ・「選択と集中」の考え方の深化(事業評価の徹底、合理的な予算配分)
 - ・プロセスの重視(事業着手前の評価手順の徹底)



- <事業着手前の評価手順>
- 1) 必要性の調査
 - ・道路整備の目的と計画の整合性の確認
 - ・市町村長及び議会からの要望の確認 など
 - 2) 優先度の判定
 - ・用地買収の確実性(用地買収優先)
 - ・まちづくり等関連事業の実現可能性 など

目的、必要性、優先が明確 → 調査路線に決定

【調査1】国道168号(五條市生子町～釜窪町)
【調査2】国道169号(下北山村前鬼～音枝) → 調査継続

【調査3】(主)桜井郡郡線(桜井市白河～川上)
【調査4】(主)大峯山公園線(天川村洞川) ⇒ R2新規事業化
【調査5】国道311号(十津川村竹筒) ⇒ R3新規事業化
【調査6】国道309号(天川村北角) ⇒ 調査継続

もっと良くするために

新規事業化における評価基準の充実と評価実施のプロセスを徹底します。

○用地買収の確実性やまちづくり等関連事業の実現可能性など、評価実施プロセスを徹底します。

「選択と集中」に基づくマネジメントの徹底と、連携・協働により、供用開始に向け機運醸成を継続して実施します。

- | | |
|--|--|
| <p>○「選択と集中」に基づき、予算・事業のマネジメントを実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 予算マネジメントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・骨格幹線道路や主要プロジェクト関連事業への重点投資 ・事業進捗、効率性を踏まえた予算配分 2) 事業マネジメントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・用地プログレスによる用地取得の進捗管理 ・有識者委員会を設置し、用地買収、用地補償の算定を審査 ・事業認定手続きを標準化し、必要な箇所に活用 3) 利用者への工事内容の周知を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・工事内容について、看板の設置等により地域や通行者へ周知 ・工事箇所への完成予想図の設置 | <p>○供用目標の宣言を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 供用対象の決定 <ul style="list-style-type: none"> ・開通、改良別に整備効果の早期発現のための基準を策定して決定 2) 供用時期の公表を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・3年以内に供用開始が見込める箇所について、供用時期を公表 3) 利用者への供用開始の周知を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・供用開始について、看板の設置等により地域や通行者へ周知 ・お礼や感謝等のメッセージを伝える |
|--|--|

令和4年度予算案 15,323百万円 [債務負担行為 6,570百万円]
令和3年度2月補正予算案 2,600百万円

R4予算案 15,323,187千円 [債務負担行為 6,570,000千円]、R3・2月補正予算案 2,600,018千円

奈良県道路整備基本計画の概要(令和元年10月改定)

I. 整備すべき道路のあり方 一何のために・どのような一

- ・県土の骨格を形成すべき、特に重要な路線網を「骨格幹線道路ネットワーク」と位置づけ、その重点的な整備を推進
- ・道路整備の3つの目的を定め、効率的かつ効果的な道路整備を推進
- ・大規模自然災害の増加や社会資本の老朽化などへの対応を強化し、道路の安全・安心の確保の取組を推進

骨格幹線道路ネットワークの形成

奈良県経済の進展に対応した目的志向の道路整備の推進

- 企業立地を支援する道路整備の推進
- 観光振興に資する道路整備の推進
- まちづくりに資する道路整備の推進
- 安全・安心を支える道路整備の推進

II. 道路整備の進め方 一どのように一

- ・「選択と集中」を深化させ、道路整備を体系的に進める取組として、評価実施プロセスの徹底や、予算・事業マネジメントにより効率的に事業を推進
- ・関係機関との関係のあり方や、県民への説明責任を重視しながら、道路整備を推進

「選択と集中」の深化と道路整備の体系化

段階に応じた評価の実施	「選択と集中」に基づく予算・事業マネジメント
連携・協働と説明責任	契約・許認可の適正確保と品質向上
市町村等の関係機関との連携・協働	説明責任の重視
	契約手続・許認可事務の適正確保

1. 道路・街路の整備 (14,944,187千円、R5～R6債務負担行為 6,497,000千円、R3・2月補正予算案 2,600,018千円)

- ・国道168号 小平尾バイパス、王寺道路、香芝王寺道路、新天辻工区、阪本工区
- ・国道169号 御所高取バイパス、高取バイパス
- ・国道308号(宝来ランプ)
- ・大阪生駒線(辻町インターチェンジ)
- ・枚方大和郡山線、天理王寺線、桜井吉野線、高野天川線、結崎田原本線
- ・赤滝五條線、奈良橿原線、西九条佐保線、JR関西本線(高架化)、大安寺柏木線
- ・城廻り線、元町畠田線、畝傍駅前通り線 ほか



2. 道路整備の必要性等の調査 (379,000千円、R5債務負担行為 73,000千円)

- ・国道168号(五條市生子町～釜窪町)
- ・国道169号(前鬼～音枝) ほか



IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (46) 円滑な用地買収・用地補償

ここまで良くなってきました

奈良県の地域振興の最大の障壁は全国にとどろく**用地買収の困難性**ですが、**改善に努めてきました。**

○公共用地は鑑定価格以上では絶対買えません。

耕作放棄地には重課制度の適用ができません。(通常の農地固定資産税の1.8倍の重課)

○農業委員会が当該放棄地を中間管理機構に対し貸付(農地として再活用)を協議すべき旨の勧告をした際に重課が適用されます。

用地買収難航の理由は、ほとんどが高額要求であり、奈良県は**用地買収が全国上位の難しい地域**と言われているのを改善する必要があります。

○土地取得価格の適正性を確保するため、不動産鑑定士・学識経験者からなる有識者委員会を設置しました。

○公共用地の取得に係る損失補償価格の適正性を確保するため、弁護士、不動産鑑定士、一級建築士からなる有識者委員会を設置しました。



もっと良くするために

事業化に際しては、**用地買収の確実性**を確認します。

(実績)
・R2 (主)大峯山公園線(天川村洞川)
・R3 国道311号(十津川村竹筒)

高額案件等の**用地費や補償費の妥当性は、有識者委員会を経て判断**します。(1百万円)

(開催実績)
・R2 6回
・R3 6回(R4年1月末時点)



骨格幹線道路の用地買収の状況 (一般国道168号(曾志王寺道路)の道路整備)

事業認定手続きを標準化します。

○主要プロジェクトについて、進捗度にあわせた完成目標を明確にし、土地収用法に基づく事業認定手続きを標準化、明確化し、必要に応じて、その適用を実施

用地買収体制を強化します。(1百万円)

○用地買収体制の強化と用地担当職員個々の資質向上に取り組むとともに、用地担当職員のモチベーションを上げる仕組みを検討



奈良県県土マネジメント部用地事務職員初任者研修

令和4年度予算案 2百万円

R4予算案 1,863千円

R4年度の取組 (1,863千円)

道路事業の**用地買収・用地補償を円滑に進められるよう、新規事業化から用地買収までのプロセスと用地取得が困難な場合の対応を明確化**

1. 新規事業化における評価基準の充実と評価実施プロセスの徹底

必要性の調査

○**県土形成、地域振興等の目的に対する行政機関の取組状況や道路整備による目的貢献度を**確認し、**道路整備の必要性を調査**

優先度の判定

○**道路**
・**用地買収の難易度の判断**
・**市町村によるまちづくり等の関連事業の実現可能性の判断**
・**財政状況の判断**
・**事業手法の判断**

新規事業化

2. 用地費・補償金算定における適正性の確保

・大規模な事業用地の取得案件等を対象に、**鑑定価格の妥当性について、有識者から意見を聴取**
【有識者】不動産鑑定士、学識経験者
・高額案件等を対象に、**公共用地の損失補償に関する考え方や補償内容の妥当性について、有識者から意見を聴取**
【有識者】弁護士、不動産鑑定士、一級建築士(補償業務管理士)

3. 事業認定手続きを標準化

主要プロジェクトの完成目標にあわせ、各事業箇所について、**土地収用法に基づく事業認定手続きを標準化**し、計画的に用地を取得

4. 用地買収体制の強化等

用地買収体制の強化と**用地担当職員個々の資質向上**に取り組むとともに、**用地担当職員のモチベーションを上げる仕組み**の検討

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 企画管理室 大久保主幹(内線4123)
用地対策課 福永課長補佐(内線4252)

IV 便利な「都」をつくる 12 鉄道整備 (47) 近鉄西大寺駅の高架化・近鉄奈良線の移設

ここまで良くなりました

令和3年3月に、大和西大寺駅高架化及び近鉄奈良線移設を記載した踏切道改良計画を策定・提出しました。

○計画の具体化に向け、奈良県・奈良市・近鉄の3者による協議に加え、国にも参加いただく検討会を設置・開催しました。

H29年1月 大和西大寺駅西側の4踏切道 踏切道改良促進法に基づく改良すべき踏切道に指定
H30年1月 大和西大寺駅東側の4踏切道

R2年7月 近畿地方整備局主催で「地方踏切道改良協議会合同会議」を開催
「踏切道の改良計画については、奈良県(大和西大寺駅高架化・鉄道移設案)を基本として協議していくことで合意した」と総括

R3年3月 大和西大寺駅周辺及び同駅以東の8踏切道について、大和西大寺駅高架化及び近鉄奈良線移設事業を記載した踏切道改良計画を策定



もっと良くなるために

早期の事業認可、工事着手に向け、令和4年度に連続立体交差事業補助調査に着手するとともに、新駅設置の検討や鉄道線形の検討等、計画の具体化に向けた協議・検討を進めます。

＜踏切道改良計画に記載した大和西大寺駅高架化・近鉄奈良線移設事業の内容＞



＜R4年度の取組＞
○ 鉄道基本設計
○ 関連道路の検討 等

令和4年度予算案 70百万円

R4予算案 70,000千円

(1) 現状

- 平成29年4月に、県、奈良市、鉄道事業者で協定を締結し、
・大和西大寺駅周辺の鉄道と道路との立体交差化に関する事
・平城宮跡からの近鉄奈良線の移設案に関する事 等について三者で検討
- 令和3年3月に、県、奈良市、鉄道事業者の3者において大和西大寺駅の高架化、平城宮跡から近鉄奈良線の移設という改良方法を記載した踏切道改良計画を策定し、国土交通省に提出

(2) R4年度 (70,000千円)

- 上記踏切道改良計画に基づき、計画の詳細について、奈良県、奈良市、鉄道事業者で協議
連続立体交差事業の認可に向けて都市計画決定に必要な調査を実施
・鉄道基本設計
・関連道路の検討 等

＜踏切道改良計画に記載した大和西大寺駅高架化・近鉄奈良線移設事業の内容＞



○現在、奈良県、奈良市、近畿日本鉄道株式会社及び国による検討会において、鉄道の線形や新駅の設置等について、検討を行っているところ。

＜問い合わせ先＞
県土マネジメント部 まちづくりプロジェクト推進課 植田主幹(内線4324)

IV 便利な「都」をつくる 12 鉄道整備 (48) JR新駅の設置と鉄道高架化

ここまで良くなりました

JR関西本線高架化工事に着手しました。

- R3年1月にJR西日本と鉄道高架化に係る工事施行協定を締結し、同年9月より工事着手しています。
- 京奈和自動車道(大和北道路)及び(仮称)奈良ICの整備が進められています。



もっと良くするために

鉄道高架化工事及びJR新駅周辺のまちづくりを推進します。

- 京奈和自動車道(仮称)奈良IC整備と新駅設置により交通の結節性が向上することから、奈良市と連携し、まちづくりを推進
- 奈良市中心市街地とのアクセス性を確保するため西九条佐保線の整備、地域分断の解消や地域交通の安全性向上のため鉄道高架化を推進



(仮称)奈良IC・西九条佐保線(完成イメージ)

令和4年度予算案 4,075百万円 [債務負担行為265百万円]

R4予算案 4,074,568千円 [債務負担行為 265,000千円]

八条・大安寺地区において、京奈和自動車道(仮称)奈良インターチェンジとJR関西本線新駅を核とした、地域資源を活用した魅力あるまちづくりに取り組むとともに、鉄道の高架化と新駅の設置により、県内初のインターチェンジと鉄道駅の結節による周遊性を向上

①(仮称)奈良インターチェンジ周辺の整備

(仮称)奈良インターチェンジから奈良市中心市街地部を結ぶ西九条佐保線、JR関西本線等の整備 (4,069,068千円、R5債務負担行為 265,000千円)

[R4年度] 鉄道高架化工事
用地買収等
奈良市が実施するJR新駅西口駅前広場整備への補助

②奈良市八条・大安寺周辺地区まちづくりの推進

奈良市八条・大安寺周辺地区における最先端の技術を活用したまちづくりに向けた検討 (5,500千円)



位置図



JR関西本線高架化イメージ((仮称)奈良IC周辺部)

<問い合わせ先> 県土マネジメント部 ①道路建設課 楠本主幹(内線4131)
②まちづくりプロジェクト推進課 植田主幹(内線4324)

IV 便利な「都」をつくる 12 鉄道整備

(49) リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定と関西国際空港接続線

ここまで良くなりました

「奈良市附近駅」位置及びルートについて、早期確定に向け、調査・検討や要望活動を実施しました。

リニア中央新幹線と関西国際空港を接続する構想について、調査・検討を実施しました。



リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会や三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会等において、国やJR東海への要望を実施

もっと良くするために

2027年の全線開業に向け、JR東海が駅位置・ルートの公表に向けた準備を速やかに進められるよう、誠実な信頼関係に基づく協力・連携をJR東海と進めます。

「奈良市附近駅」と関西国際空港を直結するリニア中央新幹線・関西国際空港接続線構想の具体化に向けた検討を進めます。

○「奈良市附近駅」の候補地として3市が提案している5箇所につき、想定ルート等に関する調査・検討を引き続き実施

○新線建設と在来線改良の組み合わせ方式で検討（在来線活性化や事業費低減等の観点から、できる限り在来線を活用）

○「奈良市附近駅」の早期確定をめざし、JR東海と協議

○主な経由地は、大和高田市、御所市、五條市、橋本市、紀の川市を想定

○奈良県は、①用地取得、②工事に伴う発生土の処分地の確保、③住民の方のご理解、④リニア駅を中心としたまちづくりの取組を通じて、全面的に協力

○関西国際空港からのインバウンド観光客や、関東・中部地域からのリニア利用者を、本県の世界遺産等に連続的に取り込むとともに、リニア中央新幹線と近畿南部の観光地を結び、より広域な観光ルートを形成

○リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会等において、国やJR東海に対し要望活動を引き続き実施

令和4年度予算案 250万円

R4予算案 25,000千円

1. リニア中央新幹線の想定ルートに関する調査・検討

○「奈良市附近駅」の候補地として3市が提案している5箇所につき、想定ルート等に関する調査・検討を引き続き実施

2. リニア中央新幹線・関西国際空港接続線に関する調査・検討

○リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の開業を15年後（令和19年）に控え、本構想の具体化に向け、新線建設と在来線改良の組み合わせ方式等に関する調査・検討を引き続き実施（在来線活性化や事業費低減等の観点から、できる限り在来線を活用）

リニア中央新幹線ルート概念図



リニア中央新幹線・関西国際空港接続線構想



■リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の候補地として3市が提案している箇所

- 奈良市 ・JR新駅周辺候補地（八条・大安寺地区周辺）
・郊外型候補地（JR平城山駅周辺）
・市街地型候補地（JR奈良駅及び近鉄奈良駅周辺）
- 大和郡山市 ・JR大和路線と近鉄橿原線が交差する場所
- 生駒市 ・関西文化学術研究都市 高山地区第2工区

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 リニア推進・地域交通対策課 植田主幹（内線4324）

IV 便利な「都」をつくる 13 バス輸送環境整備 (50) 路線バス輸送サービスの改善とバス停アメニティの向上

ここまで良くなりました

広域バス路線につき、客観的な指標に基づく診断と関係者による検討に基づく改善に取り組んできました。また、バス停のアメニティ向上や利用環境の整備への支援を行ってきました。

〇5つの客観指標に基づく診断

- ・1便あたり利用者数 ・平均乗車密度
- ・最大乗車人員 ・収支率
- ・利用者1人あたり行政負担

〇公共交通の利用環境の整備

- ・バス停の上屋整備や多言語案内標識の設置等を支援
- ・バス運行情報提供システムの整備を支援

関係者が参画する協議会により、運営形態やサービスの見直し

(例)

- ・路線バスから市町村主体のコミュニティバスに転換
- ・広域医療拠点への直接乗り入れ等を実施



バス停の上屋整備(石舞台バス停)

バス停案内システム (JR奈良駅、近鉄大和/水郷等に設置)

もっと良くなるために

他の交通モードとの効果的な連携、デジタル技術の活用により、バス輸送サービスの向上や持続的な地域公共交通サービスの確保を図ります。

〇広域バス路線の維持・充実を図る取組の強化 (212百万円)

- ・鉄道、タクシー、デマンド交通等、他の交通モードと連携し、地域に最適な交通体系の構築に向けた取組を展開
- ・南部東部を中心とする広域路線バス等に対し補助



橿原市-五城市-十津川村を結ぶ路線バス(八咫新路線)

〇バス停の高機能化に併せ、地域の公共・商業施設と連携した利用促進策等の実施 (8百万円)



路線バス、コミュニティバスが乗り入れる商業施設隣接バス停の改良

商業施設内でのバス位置情報を表示

〇デジタル技術の活用によるサービス向上 (45百万円)

- ・(新)自動運転等の交通サービスの検討
- ・(新)地図アプリ等でコミュニティバスの運行情報を経路検索できるよう、データを整備

令和4年度予算案 265百万円

R4予算案 265,236千円

1. 広域バス路線の維持・充実を図る取組の強化 (212,136千円)

①地域の多様な関係者が参画する「エリア公共交通検討会議」において、鉄道、タクシー、デマンド交通といった他交通モードや、施設バス、自家用有償旅客運送、助け合い運送等の多様な交通サービスと連携し、地域に最適な交通体系の構築に向けた取組を支援

②南部東部を中心とする広域路線バス・市町村連携コミュニティバスの運行に対し補助

2. バス停の高機能化や周辺施設との連携 (8,100千円)

〇上屋・ベンチの設置、多言語案内標識、運行情報表示装置の整備といった高機能化に併せ、公共交通利用者へのインセンティブ付与等の地域の施設と連携した利用促進策を実施



路線バス、コミュニティバスが乗り入れる商業施設隣接バス停の改良

3. デジタル技術の活用によるサービス向上 (45,000千円)

①(新)自動運転やMaaS(Mobility as a Service)の導入を想定し、デジタル技術を活用した交通サービスの実証実験等に向けた検討を実施

※出発地から目的地まで複数の交通モードの経路検索・予約・決済を一体として提供するサービス

- ・県内において市街地と中山間地域の2地域程度を予定
- ・自動運転バスやAIを活用したオンデマンド交通などの運行に向けた実施計画の検討 等

②(新)地図アプリケーション等でコミュニティバスの運行情報を経路検索できるよう、国が定める標準的なバス情報フォーマット(GTFS)により、データ化を実施



現在地 から 〇〇駅北口 まで

概要	徒歩 7分	バス 22分		
詳細	14:02発 現在地	14:09 市民公園西	14:21 〇〇タウン中央 (直通・乗換不要)	14:31着 〇〇駅北口
	徒歩 7分	〇〇コミュニティバス 市民公園線12分	〇〇コミュニティバス 市民公園線10分	

地図アプリケーションでの経路検索の表示イメージ

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 リニア推進・地域交通対策課/まちづくりプロジェクト推進課 津田課長補佐(内線4164)